

お お が み

大上西蒲区長へインタビュー

新潟市初の公募区長として、4月に就任されてから早くも一年が経とうとしています。私たち自治協議会の広報委員は、大上区長の本音を探るべくインタビューを決行！果たして結果は…



大上区長 「人にやさしい区」をつくりたい！



題字 小林 眞由美

【第2号】
平成27年3月15日発行

発行 西蒲区自治協議会
編集 西蒲区自治協議会広報委員会
事務局 西蒲区役所地域課

〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1
TEL 0256-72-8156
FAX 0256-72-6022
E-mail chiiki.nsk@city.niigata.lg.jp



校長である教育職から区長という行政職へ
志願した理由をお聴かせ下さい！

■年度末で定年退職を迎えようとしていた9月。退職後はこじんまりした立ち食いそば屋をやりたいと思っていましたが、公募区長募集の記事を見つけ、心が動きました。私はかつて、県教育委員会に在籍しており、その頃の私がすごくイキイキしていたと長男に言われ、応募を決心しました。落ちたらどうしようという不安もありましたが、次男からダメでもともと、後押しされました。

■西蒲区には教職員として7年、また次男や甥も高校時代を過ごし、お世話になりましたので、公募区長として微力ながらお礼ができればという気持ちで西蒲区に決めました。



一年間を振り返ってみてどうでしたか？

■4月1日に辞令を受けた際に、兄から「区長の責任」について話がありました。校長と違い、区長は四六時中、責任が伴う。それは災害がいつ起きるか分からないという理由からでした。9月に道路冠水がありました。そのときはすごく緊張しました。今は、区民の皆さまの安心安全について一番重責を感じています。

■農業特区に関する事業や国の補正予算で計上された「まち・ひと・しごと創生」関連事業のように、国の動きに対応して行う事業、また、子育て・高齢化・公共交通など区民の生活と密着した事業もあり、責任の重さとやりがいを感じています。



子どもの頃の楽しかった思い出、
辛かった思い出はどんなことですか？

■私の父は警察官で、三八豪雪の頃、現在の江南区沢海の駐在所に勤務していました。当時、飼っていた犬（まる）と2階から、ソリですべって遊んだり、また、私は4人兄妹の末っ子ですが、みんなでポテトサラダを作ったりしたことが、楽しかった思い出です。

■逆に辛かった思い出は、私が小学生になる前に、母が二年間入院したことです。父が帰ってくるまで、こたつに兄妹4人で丸まって眠ったこともありました。



家庭人としては自分に何点をつけますか？

■私は根っからの仕事人間で、仕事に没頭してしまっていますが、これは父の仕事に対するまじめな姿勢に影響を受けたと感じています。家庭を顧みず、仕事をしてきた頃がありました。家庭人としては点数が付けられないくらいです。



趣味はお持ちですか？

■読書です。特に吉村昭さんの本が好きで全部読みました。大人の男の考え方、表現の仕方など共感できます。特に「梅の蕾」が一番好きです。■まち歩きも好きです。中央区の下町には神社がたくさんあり、スタンプが置いてあります。そのスタンプを押しながら神社巡りをして、最後にみなどびあのカーブドッチでワインを飲んで締めくくります。最高です。



西蒲区をこれからどうしていきたいですか？

■超高齢社会の到来に向け、地域包括ケアシステムを構築し、地域で高齢者を支える。また、文化や伝統などを地域の大人が子どもたちに伝えている。このように地域で支え合う「人にやさしい区」をつくっていききたいと思えます。

■農業特区を活用して、お米はもちろん、イタリヤ料理に適した葉物野菜などにも力を入れ、また、ワインやジュースのような加工品を生産、販売する6次産業化やカーブドッチのような観光農業も重視し、日本をリードする「農業の発信基地」にしていきたいとも考えております。



大上区長、ありがとうございました！

区長のあれこれ

好きな食べ物	そば(週3~4日は食す)
嫌いな食べ物	ありません
休日の過ごし方	読書・散歩を兼ねたまち歩き
星座・血液型	うお座・O型
好きなタレント	中身は吉村昭・外見は高倉健
好きなスポーツ	登山(今はやっていない) 1時間程度のウォーキング
好きな言葉	山本五十六の「男の修行」

男の修行 山本五十六

苦しいこともあるだろう
云い度いこともあるだろう
不満なこともあるだろう
腹の立つこともあるだろう
泣き度いこともあるだろう
これをじっと
こらえてゆくのが
男の修行である



山本五十六が、後輩からの相談に手紙で励ました一節です。私もこうありたいと常々思っています。

インタビュー後のひとこま

広報委員会で感想を
まとめました！

インタビューが始まり、

最初はポツリポツリと言えはよいのか、少し小さな声で静かに話す様子から、控えめな印象を受けました。

父親、母親のことを話していくうちに、教育者としての考え方が伝わってきて、真面目な人柄、学問一筋であったのだろうかとも思いました。しかし、話が進むにつれ、そば屋になりました。

かかった、若い時は登山もした、吉村昭さんの本は全部読んだ等々、一つとして自慢する言い方ではなく、むしろ物事に真剣に取り組み、真をきわめてきたタイプのように感じました。

区長として、西蒲区の農業を大きく伸ばしたい夢も持っていたらいいと思います。産業、農業ともに西蒲区の真をきわめ、新潟県、いや日本一の区政を行って

もらいたいと思いました。



会議以外にもこんなことを行いました！

カーブドッチで委員研修会

平成26年8月29日、カーブドッチを会場に行われた「西蒲区自治協議会委員研修会」。毎月行われている会議とは違う雰囲気の中、「地域との関わり」をキーワードに、いざ研修会スタート！

最初に、カーブドッチ代表取締役である掛川千恵子さんから、「創業からの取り組みと地域との関わり」というタイトルでご講演いただきました。地域と関わることで、地域の方々の考え方や関心の変化が見られてきたというお話を聞き、私たち委員も積極的に関わることで地域を変えられることができるのでは！と考えさせられました。

では、どのように地域と関わっていけばいいのかな？

と疑問に思ったところで、ワークショップです。NPO法人まちづくり学校の大滝聡さんから、「地域との積極的な関わりを持つためのスキル」を学びました。まずは、まちづくりの具体的な手法を先進市の事例を見ながら学び、地域活動における心得として「アイデアを生み出す会議スタイルにする・攻めのプロジェクトを持つ・表現力を身につける」というポイントを教えていただきました。次に、私たち委員が地域と関わるときに、地域の方の能力を引き出す手法をグループワークをしながら学びました。

私たち委員は、この研修で学んだことを少しでも地域で活かせるように取り組んでいきたいと思えます。



区内小中学校との懇談会

毎年度3校を訪問する「西蒲区自治協議会と区内小中学校との懇談会」。西蒲区独自の取り組みとして平成24年度から始まりました。今年度は、平成27年1月20日の岩室中学校を皮切りに、21日に中之口西小学校、27日に湯東南小学校を訪問しました。

学校概要の説明を聞いたあと、授業参観をさせていただき、意見交換という流れで行っていますが、今回は「地域と学校の連携について」というテーマを設定しました。

学校によっては、授業参観日と同日で、さらにテーマである地域と学校の連携に関する授業内容としていただいたところもあります。意見交換では、地域と学校をつなぐ要となる地域教育コーディネーターの方から、様々な取り組みを教えてください。地域の協力なくして事業は成り立たないということを感じました。

私が訪問した岩室中学校は、今年度新校舎が完成しましたが、地域の方が利用できる開放型設備が充実していたことに驚きました。また、どの学校も学校だよりなどを自治会回覧しており、地域へ情報発信することで、学校がより身近に感じられるように、また、よりよい連携ができるように取り組んでいます。地域の皆さまも、そんな学校へぜひ足を運んでみてください。



中之口西小学校



岩室中学校



湯東南小学校



岩室中学校校舎

ホットとコーナー

ホットとコーナーの記念すべき第1号は、新潟県内の農業経営者を育成している「新潟県農業大学校」の先生と卒業生による投稿記事です。

新潟県農業大学校 園芸経営科長

農業大学校の農産物直売所「情熱市場」は、農業の6次産業化の授業の一つとして学生が運営しています。店舗運営の役割分担、農産物の準備と陳列、お客様対応の練習を行っています。学生はお客様の笑顔を見ると、それまでの不安や苦労が吹き飛び笑顔に変わります。その姿を見ると私が私のホットとする瞬間です。

今年も5月下旬から毎週木曜日午後開催する予定(詳しくはHP等で紹介)です。是非、「情熱市場」で自慢の農産物を販売する学生の笑顔を見に来てください。



新潟県農業大学校 畜産経営科 卒業生 小池光輝

私がホットするのは、ピアノを弾いているときです。小学4年生から中学2年生までピアノを習っていました。

去年の卒業式と入学式の際に、先生からピアノ伴奏を頼まれました。ピアノ伴奏は初めてだったので、ミスタッチをしないように一生懸命練習をしました。当日はかなり緊張しましたが、落ち着いて弾くことができ、その結果良い演奏をすることができました。

先生方や後輩からも温かい言葉を貰え、とても嬉しく思いました。



「ホット」とするエピソード、引き続き募集中！

編集後記

「しちきょう」第二号は、大上区長へのインタビューを特集しました。区長の人柄と西蒲区行政への思いが伝わった幸いです。新年度が始まります。地域課題解決のためにも、皆さまからの声をお待ちしています。